

家庭学習の すすめ

【6年生】



大阪市立香簀小学校

保護者の皆様へ

① 小学校6年生の学習・生活の特徴は

- ・学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習も増え、コンピューターや図書室などを使って調べる学習も増えます。
- ・委員会活動やクラブ活動などでは委員長や部長を任され、今まで以上に協調性や責任感が求められるようになります。

② 学習習慣を身につけさせるためには

- ・子どもの活力を生み出す
- ・「ほめる」、「励ます」、「認める」
- ・家庭学習時間の確保
- ・家庭での学習環境づくり

③ 小学校6年生の各学習は

- | | |
|------------|--|
| 国語 | 物語文、説明文、ずい筆、漢詩など |
| 算数 | 対称な図形、円の面積、小数のかけ算・わり算、比、比例と反比例、資料の調べ方など |
| 理科 | ものの燃え方、ヒトや動物の体、植物のつくりとはたらき、水溶液性質、月と太陽、てこのはたらき、発電と電気の利用など |
| 社会 | 日本の歴史 公民 日本国憲法など |
| 図工 | 対象を細かい部分までとらえて描くこと、一版多色刷りなど |
| 音楽 | 自然で響きのある歌い方、楽器の特徴を生かした演奏など |
| 道徳 | 自分自身・人・集団や社会・生命や自然、崇高なもの、と関わる道徳性を養います。 |
| 外国語 | 聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと |

④ 小学校6年生の各学習の副読本は

- | | |
|-----------|-------|
| 国語 | 漢字ドリル |
| 算数 | 計算ドリル |

【6年生の人へ】《学習のめやすは 60分》

☆はじめに、宿題にといかかろう！

- ・宿題が終わったら、自主学習を進めましょう。
- ・遊びと勉強する時間帯の区別をはっきりつけよう。
- ・一週間の学習計画を立てて、好きな教科だけでなく苦手な教科も学習しよう。

《国 語》

① 読む力

※強弱や速さ・間の取り方などを工夫して音読する。

※説明文では「筆者の主張」を、物語文では「人物の気持ち」を意識して読む。

※好きな本を見つけて、読書の習慣を身につけよう。

※新聞をとっている人は新聞も読んでみる。

② 書く力

※漢字は覚えるまで何度も書く。新しく出てきた語句や漢字の意味は、辞書で調べる。

※教科書の文章を要約してみる。

※日記をつけてみる。まずは1～3行で。

③ 話す力

※主語と述語を意識して話す練習をする。

※普段から、自分の気持ちや思ったことをていねいに表現してみる。

⇒保護者の方へ

国語科の学習は全ての学習の基本になります。教科書の音読の宿題は、ほぼ毎日課されますので、お子さんの音読を出来る限り聞いてあげてほしいと思います。

《算 数》

① 何度も計算練習

- ※計算練習を繰り返す。間違ったときは、消しゴムを使わずに赤鉛筆で直す。(どこを間違ったか後で確認するため)
- ※小数のかけ算やわり算など、自分が苦手な計算を練習する。
- ※得意な人は速さを意識してみる。ウッカリ間違いには注意する。

② 文章問題になれる

- ※文章をていねいに読むこと。
- ※文章問題に粘り強く取り組む。
- ※線を引いたり絵や図をかいたりして、問題をまとめてから解くとよい。

③ 考えるくせをつける

- ※難しそうと最初から投げ出さず、考える。
- ※一生懸命考えて問題が解けた時の気持ちを味わってみよう！

⇒保護者の方へ

算数科の学習では、計算問題が複雑になり、抽象的な思考を伴う問題も増えてきます。
つまずきが見られる場合は、5年生以下の学習内容に戻って復習することが必要です。

《読 書》

- ※学校の図書室や西淀川図書館でいろいろな読み物を借りて、お家で読もう。
- ※同じ作者の本・同じテーマの本など、読み比べてみよう。
- ※本の中から好きな言葉や言い回しを見つけてみよう。

⇒保護者の方へ

本に親しむ子どもは、読む力や書く力が大きく成長します。お子さんと好きな本について話し合うなど、読書を刺激するような環境づくりにご協力ください。

《その他》

- ※ お家の人と相談して、お手伝いすることを決め、毎日続けましょう
- ※ 自主的に行動しましょう。なんでもお家の人や先生に頼らないように。
- ※ 日常的に運動して、体を丈夫にしましょう。
- ※ 悩み事など、なんでも相談できる友だちをつくりましょう。
- ※ この「^{かていがくしゅう}家庭学^{がくしゅう}習^{じぶん}のすすめ」にのっていない学^{がくしゅう}習^{じぶん}も、自分ですすんで^{かんが}考^{かんが}えましょう。
- ※ ^{きょうかしよ}教科書^のに載^のっている QR コードを^よ読^とみ取ると、^{ふくしゅう}これ^{ふくしゅう}までの復^{ふくしゅう}習^{ふくしゅう}やこれ^{ふくしゅう}からの学^{がくねん}年^{せんこう}の先^{せんこう}行^{がくしゅう}学^{おこな}習^{おこな}を行^{おこな}うことができます。

